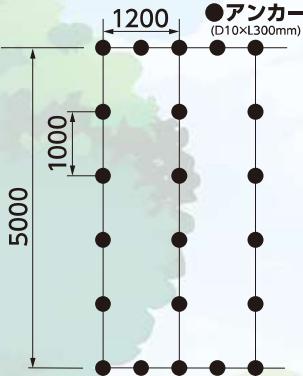
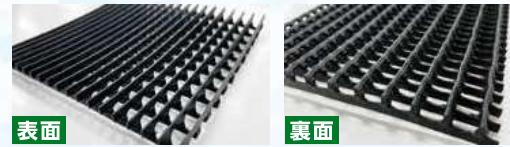


施工定規図



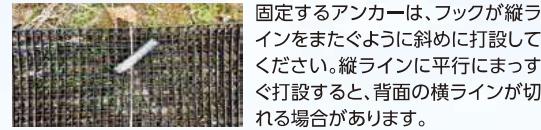
施工のポイント

- ①イノシカスライダーは両面使用いただけます



法面の縦方向には表面を、横方向には裏面を展開してください。

- ②アンカーのフックが縦のラインをまたぐように打設してください



固定するアンカーは、フックが縦ラインをまたぐように斜めに打設してください。縦ラインに平行にまっすぐ打設すると、背面の横ラインが切れる場合があります。

*鹿の跳躍力等を考慮し、イノシカスライダーは1列あたり2枚(約2.4m)以上の敷設を推奨しております

*製品同士の繋ぎ部分は5cm程度ラップしてください

*横方向に展開する場合も、同様の施工定規図になります

注意事項

●効果について

- ・本製品は、保護対象エリアへの偶蹄目動物の侵入抑制を目的としたものです。当該目的以外でのご使用をお控えください。また、本製品は偶蹄目動物の侵入を完全に防止するものではありません。
- ・本製品の効果は、野生動物の地域的特性や個体差等により異なる場合がございます。
- ・製品の仕様・規格は、改良のため予告なく一部変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

●施工について

- ・本製品は非常に滑りやすいため、法面および平面を問わず、本製品上の歩行は避けてください。
- ・施工の際は、墜落防止のため、安全帯を着用して作業を行う等、十分な安全対策を講じた上で作業を行ってください。
- ・素手で本製品に触ることにより、手を傷つけるおそれがありますので、製品を取り扱う際は必ず手袋を着用してください。
- ・施工は、施工手順書に従って、正しく行ってください。
- ・人通りが予想される場所等に設置する場合には、必要に応じて注意喚起の表示(本製品上を歩行しない旨の看板を立てる等)を行ってください。
- ・現場の状況に応じて、アンカーの長さや本数は適切に調整してください。
- ・本製品を熱や薬品等に触れさせないでください。

以下の損害については、弊社はその責任を免れます。

- ・上記の注意事項に違反して本製品が使用された場合に生じた損害、その他使用者・管理者の使用上の過失、もしくは故意過失による損害
- ・法面崩壊、地盤沈下等による損害、火・熱等による損害、有機溶剤・油・化学薬品の投棄・流入による損害
- ・台風、地震など天災地変による不可抗力に起因する損害、その他弊社の責めに帰さないと考えられる損害
- ・本製品引渡時の技術に関する知見によっては認識することができない事象などによる損害

免責 事項

前田工織株式会社

事業所のご案内

製品に関するお問合せ等は
最寄りの事業所にお問合せください

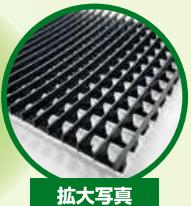
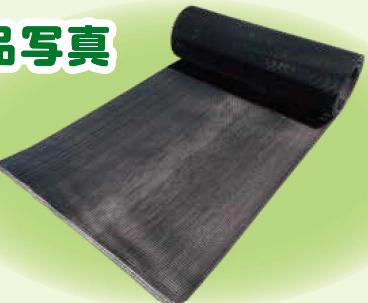
獣害対策用特殊樹脂ネット工

アシカ ストップ



特殊樹脂ネットで
「滑らせて近寄らせない」
新発想の獣害対策

製品写真



拡大写真

製品仕様

材質	ポリエチレン
厚み	10mm
幅	1.2m
長さ	5m
色	黒

滑る

イノシカスライダー®は、特殊成型した樹脂ネットです。滑りやすい表面形状により、猪や鹿などの蹄を持つ偶蹄目(ぐうていもく)動物の侵入を抑制します。



イノシカスライダーによる忌避原理

鹿や猪は移動に適した硬い蹄を持ちますが、イノシカスライダー上では歩行が困難になります。

実際の様子



イノシカスライダーに足を乗せると、前足が滑ってしまうため踏み込みづらく、侵入が困難になります。



イノシカスライダー上で歩行しようすると、転倒する鹿も確認され、高い表面滑性が分かります。



イノシカスライダーを発見すると、警戒して引き返す鹿も確認されました。

施工が容易



イノシカスライダーは、アンカーで固定するだけなので施工が簡単です。カットもしやすく、構造物まわりの調整も簡単です。

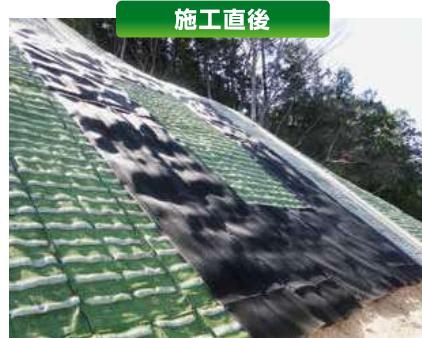
維持管理が容易



簡易フェンスでは、積雪などで変形する恐れも…

従来のフェンスや電気柵と異なり、イノシカスライダーは積雪や落石にも強く、変形しにくい構造であるため、設置後の維持管理が容易です。

試験事例(法面緑化)



施工直後



施工後1年5か月

未施工箇所

施工箇所

施工箇所と未施工箇所では、植生状況に大きな差が確認されました。

使用推奨勾配:30度以上

主な用途

イノシカスライダーは、現場の状況や獣害の課題に応じて柔軟にご活用いただけます。

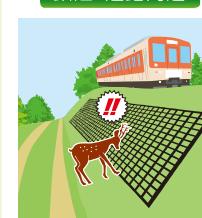
法面緑化



果樹・植樹回り



鉄道・道路周辺



柵との併用



特に傾斜地において効果が期待できます。